



☆新教育委員会制度に移行しました☆

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が平成27年4月1日に改正され、教育委員会制度の改革が実施されました。野木町ではこの度、前教育長の任期満了に伴い、平成28年10月2日、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」が任命されました。

【教育委員会制度改革とは？】

教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携強化を図るとともに、地方に対する国の関与の見直しを図るため実施されました。概要は次のとおりです。

①教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置

- ・教育委員長を廃止し、首長が直接教育長を任命することにより、任命責任が明確化するとともに、教育委員会の第一義的な責任者が教育長であることが明確になる。
- ・緊急時、常勤の教育長が教育委員会会議の招集を判断できる。

②教育委員による教育長へのチェック機能の強化と会議の透明化

- ・教育委員の定数 1 / 3 以上からの教育委員会会議の招集の請求が可能になる。

③首長と教育委員会との協議・調整の場となる「総合教育会議」の設置

- ・首長が教育行政に果す責任や役割が明確になるとともに、両者が教育政策の方向性を共有し、一致して執行にあたることが可能になる。

④教育に関する「大綱」を首長が策定

- ・地方公共団体としての教育政策に関する方向性が明確化する。

問こども教育課庶務管理係 圃 (57) 4181

中野晴永教育長が 退任されました

平成16年10月から12年間の永きにわたり、教育長として町教育の発展のために尽力されました、中野晴永氏が任期満了により10月1日をもって退任されました。



新教育長に菊地良夫氏が 就任されました

10月2日、菊地良夫氏が教育長に就任されました。



【略歴】

宇都宮大卒。昭和54年4月から大谷北小学校、間々田中学校、小山城南中学校、大谷中学校で教鞭をとる。その後、美田中学校長、栃木西中学校長、下都賀教育事務所長を歴任。60歳。小山市在住。